

目次

はじめに

この本を使う方へ..... vi

指導される方へ..... ix

ステップ1

第1回～第14回.....2

ステップ2

第15回～第30回.....18

総合問題1.....50

広がる広げる漢字の知識 **1** 接辞 54

チャレンジ 接辞① 55

広がる広げる漢字の知識 **2** 読み方と意味 56

チャレンジ 読み方と意味 57

ステップ3

第31回～第41回.....60

チャレンジ 接辞② 83

第42回～第53回.....84

総合問題2.....108

チャレンジ 接辞③ 111

広がる広げる漢字の知識 **3** 言葉の構成 112

広がる広げる漢字の知識 **4** 音の変化 115

チャレンジ 音の変化 116

チャレンジ 読解 118

別冊1 漢字表

学習漢字リスト

特別な読み方をする漢字の言葉

訓読みが二つ以上ある漢字

音読みが二つ以上ある漢字

別冊2 解答と解説

この本を使う方へ

この本は、「漢字に興味を持ち、合理的に、能率よく勉強する」ことができるように考えて作りました。この本の学習を終えた時、漢字の力がついたことが実感できるでしょう。

目的

- ・日本での生活に必要な基本的な漢字 1,046 字の使い方と読み方をしっかり身につけるための問題集です。
- ・日本語能力試験 N 5 ～ N 3 レベルの漢字の復習と、N 2 レベルの漢字の学習に役に立ちます。

対象

- ・中級中ごろの人（日本国内の日本語学校で日本語を 500 時間ぐらい勉強した人）を対象にしていますが、中級の初め（日本語を 400 時間ぐらい勉強した人）から使うことができます。

使用期間

- ・1日 15 分から 30 分の練習で、53 回で完成します。

この本の特徴

- ①漢字を本当に使える力がつきます。
 - ・文を耳で聞いて漢字で書いたり、文の中に入れて使ったりする練習によって、漢字の実際の使い方が分かります。
 - ・文脈の中でどの漢字を使うか考える問題で、楽しみながら漢字が使えるようになります。
- ② 1,046 字の漢字を、全 53 回で無理なく学習できるように工夫してあります。
 - (1) 1,046 字を三つのステップに分けて学習します。

ステップ	漢字の数	回数	漢字の種類	問題
ステップ 1	300	第 1 回～第 14 回 (14 回)	・最も基本になる漢字 ・自由に、読めたり書けたりできるようにしたい漢字 (日本語能力試験 N 4 N 5 相当)	・文を聞いて書く問題が中心 ・基本の 300 字の復習
ステップ 2	250	第 15 回～第 30 回 (16 回) 1 回 20 字 15 回のみ 32 字	・言葉を作る基礎の漢字 ・読んだり書いたりできるようにしたい漢字	・文を聞いて書く問題 ・考えて熟語を作る問題 ・文の意味から漢字の言葉を考える問題
ステップ 3	496	第 31 回～第 53 回 (23 回) 1 回 25 字 31 回のみ 40 字	・読んだり書いたりできるようにしたい漢字と、読み方と使い方を覚える漢字	・ステップ 2 同様の問題 (知っている知識から、未知の漢字の言葉を推測する問題もあります。)

(2) 別冊1の「学習漢字リスト」で予習ができます。

「学習漢字リスト」には、N2レベル相当の1,046字の「漢字」と「音読み・訓読み・特別な読み方」がすべて載っています。

(3) 問題はその回までに学習した漢字から作られています。

問題文に、まだ勉強していない回の漢字が出てくる場合は振り仮名をつけてあります。問題文の言葉もできるだけN2レベルの言葉を使っています。

③ 「広がる広げる漢字の知識」と、それに続く「チャレンジ」で、漢字の運用力が伸ばせます。「広がる広げる漢字の知識」では「接辞」「読み方と意味」「言葉の構成」「読み方の変化」について学びます。

「チャレンジ」で、「広がる広げる漢字の知識」を使う練習をします。

最後の「チャレンジ」は読解問題です。学習した漢字語をキーワードにして、全体の意味を大きくとらえる読み方が体験できます。

この本の使い方

① 第1回から順番に学習してください。

② 別冊1の「学習漢字リスト」でその回の言葉を予習してから問題を解いてください。

N2の総復習に使いたい人は、各回の問題を先にして、後で「学習漢字リスト」で確認することもできます。

③ 次のページの「CDを聞いて書く問題の書き方」「漢字を選んで入れる問題の書き方」をよく読んでから始めてください。

④ 答え合わせをして、間違ったものは必ず正しい答えを書いておきましょう。

⑤ 別冊1の最後に、「特別な読み方をする漢字の言葉」「訓読みが二つ以上ある漢字」「音読みが二つ以上ある漢字」のリストがありますから、参考にしてください。

⑥ 別冊2の「解説」も参考にしてください。

凡例

名：名詞

自：自動詞

参：参照

動：動詞

他：他動詞

特：特別な読み方をする漢字の言葉

形：形容詞

慣：慣用句

□：中の数字は学習する回

副：副詞

類：類義語

CDを聞いて書く問題の書き方 CD1

I 番の問題は、CDを聞いて文を書く練習です。文は2回読みます。できるだけ最初から漢字を使って書きましょう。

例)

I CDを聞いて、指示された数の漢字を使って文を書きなさい。

① 5

② 10

I の中の漢字を使って、文を完成

・()の中の数は、漢字の数です。

・例のように5と書いてあったら、五つの漢字を使って文を書いてください。

・同じ字がもう一度出てきたら、2回と数えます。

①書き方の順序

(1) CDを聞く

(2) 解答を書く

(3) 間違いを直す

例) CD いちにちいつかはてきすとをみてください。

(5) 一日一回はテキストを見てください。

1 2 3 4 5

消しゴムで消さないで、線で消して、正しい字を書きましょう。

見

(5) 一日一回はテキストを~~見~~てください。

②書き方の注意

(1) 「漢字」「平仮名」「片仮名」を使って文を書きます。数字は漢字で書きます。(一二三……)

(2) 次のようなものは、平仮名で書きます。

・「～て」 ～てください、～ていく、～てくる、～てみる、～てあげる など
 ・「こと」 ～ことがある、～ことにする など
 ・「いう」 ～という、～からといって など ・「ほう」 ～たほうがいい など

(3) 「わたし」は「私」と漢字で書きます。

漢字を選んで入れる問題の書き方

次のような問題は、必ず漢字で答えを書いてください。文の中で実際に書くことが大切です。

例)

Ⅱ AとBの漢字を組み合わせて、文を完成させなさい。____の部分の読み方も書きなさい。

A 学 教 時 今 生

B 日 室 徒 校 間

①必ず約束の _____ までに来てください。
()

悪い例

A 学 教 時 今 生 B 日 室 徒 校 間

①必ず約束の _____ までに来てください。
()

いい例

A 学 教 時 今 生 B 日 室 徒 校 間

①必ず約束の 時間 までに来てください。
(じかん)

指導される方へ

本書では、系統的な学習を通じて、語彙としての理解を伴った中級レベルの漢字力の養成を目指し、特に「漢字仮名混じり文がスムーズに読める・書ける」ことを到達目標としている。以下、学習の範囲と改定の要点について述べる。

学習範囲

2010年から実施の日本語能力試験では、具体的な漢字と語彙の出題の基準は公開されておらず、各レベル認定の目安のみ公開されている。

本書ではN2レベルが対象とする漢字を次のように定めた。

①漢字

- ・「日本語能力試験 出題基準」(2002年改訂)の2級漢字に次の漢字を加減したものをN2レベルの漢字とする。

基になる漢字	「日本語能力試験出題基準」(1994年公開、2002年改訂) 2級の漢字	1,023字
1級漢字のうち、N2レベルで学習したほうが良いと考えられる漢字	隠 炎 壊 株 義 及 驚 系 嫌 洪 護 災 士 氏 就 症 証 属 態 帳 提 統 派 博 訳 羊 養 離	28字追加
2級漢字のうち、N1レベルで学習したほうが良いと考えられる漢字	掘 耕 脂 双 零	5字削除
本書で学習する漢字		1,046字

②読み

- ・上記「1,046字の漢字」の読み方のうち、N2レベルまでの語¹を表記するのに必要な音・訓・熟字訓。ただし、N2レベルの語であっても、それを構成する漢字にN1レベルの漢字が含まれている場合は、その読みは扱わない。

例：悪 アク： 扱わない

(N2レベルの語は「悪魔」1語のみで、「魔」はN1レベル漢字のため)

オ： 扱わない (N2レベルの語に、「オ」の読みを使った語がないため)

わるい：扱う (「悪い」「悪口」がN2レベルまでの語であるため)

③表記

- ・表記については、武部良明編『現代国語表記辞典第二版』(三省堂、1992)で「標準的な現代表記」とされているもの、及び「公用文」「新聞」での書き表し方とされているものに従う²。

改訂の要点

本書では、学習漢字の範囲を見直すとともに、漢字と漢字語彙の運用力を伸ばすためのページを充実させた。

①「広がる広げる漢字の知識」

- 1 「接辞」：接辞的に働いて新たな語が作り出せる漢字について知る。
- 2 「読み方と意味」：知らない漢字語の読み方と意味を既習の知識から類推する。
- 3 「言葉の構成」：漢字語の構成の基本的な型について知る。
- 4 「音の変化」：漢字語の音変化の基本的なルールを知る。

②最後の「チャレンジ」の読解問題は、実際の言語活動で漢字力を生かすことを意図した。漢字語をキーワードにして全体の意味を大きくとらえる読み方へのチャレンジを目的にしている。

1 本書では「日本語能力試験 出題基準」(1994年公開、2002年改定)の2級語彙表をもとに、必要度や難易度の調査に基づいて調整を加えたものを、N2レベルの語彙としている。

2 「私」のみ「わたし」の読みを許容している。



ステップ 2 第 15 回 ~ 第 30 回

I CDを聞いて、指示された数の漢字を使って文を書きなさい。CD16

- ① (4) _____
- ② (8) _____
- ③ (7) _____

II □の中の漢字を使って、文を完成させなさい。_____部分の読み方も書きなさい。

帰 温 返 加 解 過

(例) 今日は妻の誕生日なので、早く家へ帰ろう。
(かえろう)

- ①勉強不足で、こんな易しい問題も_____ことができない。
()
- ②この料理は酒を_____と、もっとおいしくなります。
()
- ③寒かったです。今、スープを_____ますから。
()
- ④約束の時間を_____たのに、まだ友達は来ない。
()
- ⑤電車で忘れたかばんの中には、先生に_____大切な本が入っていた。
()

III □には同じ漢字が入ります。解答欄に漢字と_____の部分の読み方を書きなさい。

(例) 手術のため、近くの病□に入□した。

- ①昼食は□自、持参のこと。／全国□地を旅行する。
a b c d
- ②雨が降っていたので、体□館でバスケットをした。／
e
国の発展を支えるのは教□だ。
f

(例) 院	a	びょういん
	b	にゅういん
①	c	
	d	
②	e	
	f	



- ③彼は、遅刻も欠席も一度もない□^g心な学生だ。/
映画を見て□^h動したのは、久しぶりだ。

③	g	な
	h	

IV _____の部分の漢字には読み仮名を、平仮名には漢字を（送り仮名も）書きなさい。

- ①父は絵画を集めるのが趣味です。 ②取ったばかりのかいを生で食べた。
a b c
③これはとりに変えられてしまった王子の物語です。
d e f
④駅前にできるマンションはいちおくえんするらしい。 ⑤机の角にぶつけた腕が痛い。
g h
⑥書類のサインが本人のものであることはあきらかだ。
i
⑦そちらの様子が分かったらメールで知らせてください。
j

a	b	c	d	e
f	g	h	i	j

V _____の部分の漢字、または読み方を選びなさい。

- ①私には無理な仕事なのに、ごういんに頼まれてしまった。
1 号引に 2 強引に 3 強飲に 4 合員に
- ②A：田中はただ今、外出しておりますが。B：それでは、目をあらためて参ります。
1 改めて 2 変めて 3 新めて 4 更めて
- ③あの人は、いつもおかしなかっこうをしている。
1 格好 2 活行 3 格行 4 活好
- ④「席は必ず取れる。約束する。」と言っていたが、果たして取れたのだろうか。
1 かたして 2 はてたして 3 はたして 4 くだたして
- ⑤彼女は「自ら学ぶことの楽しさが分かりました。」と言った。
1 じから 2 わたしから 3 しから 4 みずから



ステップ 3 第 31 回 ~ 第 53 回

I CDを聞いて、指示された数の漢字を使って文を書きなさい。CD32

① (6) _____

② (11) _____

II □の中の漢字を使って、文を完成させなさい。_____部分の読み方も書きなさい。
(すべて形容詞です)

易 汚 暖 鋭 偉 永

①口には出さなくても、子供の観察力には_____ものがある。
()②去年の春、祖父は_____眠りについた。
()③このノートは眠い時に書いたので、字が_____て読めない。
()て④親に頼らずに大学に行くなんて、君は_____よ。
()⑤見ていると_____そうに思えるが、自分でやってみると大変だ。
()そう

III □には同じ漢字が入ります。解答欄に漢字と_____部分の読み方を書きなさい。

①野球の試合が□びたため、放送時間が30分□長された。②事務所を郊外に□したので、□転の通知を送った。③アジアは雨の多い地□だ。／ここからは危険区□ですから入らないでください。④人間は血□の3分の1を失うと死んでしまう。／これは、普通の温度で□体になる金属です。

①	a	びた
	b	
②	c	した
	d	
③	e	
	f	
④	g	
	h	



⑤ドルは世界で通用する通□だ。／

現在、□物^{ひき}の輸送には主にトラックが使われている。

⑤	i
	j

IV _____部分の漢字は読み仮名を、平仮名は漢字を（送り仮名も）書きなさい。

①地図帳を開いて、四大文明の発生した大きな河^aに印^bを付けた。

②ストレスによる胃炎^cで1週間入院した。 ③遠くに見えるあの黒い煙^dは何だろう。

④私の母はお菓子^e作りが得意だ。

⑤衣食住^fが足りているからといって、文化的な生活だとは限らない。

⑥大きな荷物を持って通るので、ドアを押さえて^gいてください。

⑦二人は神の前でえいえん^hのあいⁱを誓った。

⑧廊下^jの奥^kは祖母の部屋になっている。

a	b	c	d	e お
f	g さえて	h	i	j

V _____部分の漢字、または読み方を選びなさい。

①ピカソは20世紀のいだい⁽¹⁾な画家⁽²⁾だ。

- (1) 1 遼大な 2 偉大な 3 緯大な 4 葦大な
 (2) 1 かくや 2 がや 3 かくか 4 がか

②日本人と欧米人の感情表現は異なると言われている。

- 1 おうべ 2 おうべい 3 おおべえ 4 おおべい

③1,000年前京都^{きょうと}は日本の都としてさかえていた。

- 1 栄えて 2 営えて 3 和えて 4 盛えて

④この運河^{うんが}が開通して、船での運送が便利になった。

- 1 うんが 2 うんこう 3 うんか 4 うんごう

ステップ2 (301～550)

第15回

301	暗
アン	暗記
くらい	暗い
302	以
イ	以下 以外 以後 以降 以上 以前 以内 以来
303	位
イ	～位 地位
くらい	位
304	意
イ	意外 意見 意思 意地悪 生意気 用意
305	違
イ	違反
ちがう	違う 違い 違くない 間違う(自・他)
ちがえる	間違える(他)
306	育
イク	教育 体育 体育館
そだつ	育つ
そだてる	育てる(他)
307	引
イン	引用 引力 強引

ひく	引く(他) 引き受ける(他) 引き返す 引き止める(他) 引き分け 引っかかる 引っかける(他) 長引く
308	雲
ウン	
くも	雲
309	泳
エイ	水泳
およぐ	泳ぐ 泳ぎ
310	英
エイ	英語 英文 英和 和英
311	営
エイ	営業
312	王
オウ	王 王様 王子 王女 国王
313	央
オウ	中央
314	横
オウ	横断
よこ	横 横切る
315	億
オク	億
316	温
オン	温室 温度 気温 体温
あたたか	温か
あたたかい	温かい
あたたまる	温まる

あたためる	あたためる(他)
317	加
カ	加速 加速度
くわえる	加える(他)
くわわる	加わる
318	可
カ	可 不可
319	果
カ	果実
はたす	果たす(他) 果たして
(特)	果物
320	過
カ	過去 過半数 通過
すぎる	過ぎる ～過ぎ 通り過ぎる
すごす	過ごす(他)
321	課
カ	課 課長 日課
322	改
カイ	改正
あらためる	改める(他) 改めて
323	絵
カイ	絵画
エ	絵
324	解
カイ	解答 見解 分解 理解
とく	とく(他)
とける	とける

325	貝
カイ	貝
326	各
カク	各～ 各自 各地
おのおの	各 (各々とも書く)
327	角
カク	角度 三角 四角 四角い 方角
かど	角 四つ角
328	格
カク	格好 同格
329	活
カツ	活気 活字 活動 活用 活力 生活
330	完
カン	完全
331	寒
カン	寒帯
さむい	寒い
332	感
カン	～感 感じ 感じる/ずる(他) 感心 感動

第16回

333	関
カン	関係 関西 関心 関する 関東 機関 交通機関

546	練
レン	練習 <small>れんしゅう</small>
547	路
ロ	路線 <small>ろせん</small> 線路 <small>せんろ</small> 通路 <small>つうろ</small> 道路 <small>どうろ</small>
548	老
ロウ	老人 <small>らうじん</small>
549	論
ロン	～論 <small>ろん</small> 論じる / ずる (他) <small>ろんじる / ずる</small> 論争 <small>ろんそう</small> 論文 <small>ろんぶん</small> 議論 <small>ぎろん</small>
550	和
ワ	和～ <small>わ～</small> 和服 <small>わふく</small> 漢和 <small>かんわ</small> 平和 <small>へいわ</small>

ステップ 3 (551～1046)

第31回

551	愛
アイ	愛 <small>あい</small> 愛犬 <small>あいけん</small> 愛情 <small>あいじやう</small> 愛する (他) <small>あいにする</small>
552	圧
アツ	気圧 <small>きあつ</small> 血圧 <small>けつあつ</small>
553	案
アン	案 <small>あん</small> 案外 <small>あんがい</small> 案内 <small>あんない</small> 答案 <small>とうあん</small>
554	衣
イ	衣食住 <small>いしょくじゅう</small> 衣服 <small>いふく</small>
(特)	浴衣 <small>ゆかり</small>
555	囲
イ	周囲 <small>しゅうい</small>
かこむ	囲む (他) <small>かこむ</small>
556	依
イ	依頼 <small>いらい</small>
557	委
イ	委員 <small>いいいん</small>
558	胃
イ	胃 <small>い</small>
559	異
イ	異常 <small>いじやう</small>
こと	異なる <small>ことなる</small>
560	移
イ	移転 <small>いせん</small> 移動 <small>いどう</small>
うつる	移る <small>うつる</small>
うつす	移す (他) <small>うつす</small>

561	偉
イ	偉大 <small>いだい</small>
えらい	偉い <small>えらい</small>
562	域
イキ	区域 <small>くいきう</small> 地域 <small>ちいき</small> 流域 <small>りゅういき</small>
563	印
イン	印象 <small>いんしやう</small>
しるし	印 <small>いん</small> 目印 <small>めじし</small>
564	因
イン	原因 <small>げんいん</small>
565	隠
イン	
かくす	隠す(他) <small>かくす</small>
かくれる	隠れる <small>かくれる</small>
566	宇
ウ	宇宙 <small>うそふ</small>
567	羽
ウ	
は	～羽 <small>うは</small> 羽根 <small>はね</small>
はね	羽 <small>うは</small>
568	永
エイ	永遠 <small>えいえん</small>
ながい	永い <small>ながい</small>
569	栄
エイ	栄養 <small>えいよう</small>
さかえる	栄える <small>さかえる</small>
570	鋭
エイ	

するどい	鋭い <small>えい</small>
571	易
エキ	貿易 <small>ぼうえんぎ</small>
イ	安易 <small>あんい</small>
やさしい	易しい <small>やさしい</small>
572	液
エキ	液体 <small>えきたい</small> 血液 <small>けつえき</small>
573	越
エツ	
こす	越す <small>こす</small> 追い越す(他) <small>おひこす</small> 乗り越し <small>のりこし</small> 引っ越し <small>ひっこし</small> 引っ越す <small>ひっこす</small>
こえる	越える <small>こえる</small>
574	延
エン	延期 <small>えんき</small> 延長 <small>えんじやう</small>
のびる	延びる <small>のびる</small>
のばす	延ばす(他) <small>のばす</small>
575	炎
エン	～炎 <small>えん</small>
ほのお	炎 <small>えん</small>
576	煙
エン	煙突 <small>えんとつ</small> 禁煙 <small>きんえん</small>
けむり	煙 <small>けむり</small>
けむい	煙い <small>けむい</small>
577	塩
エン	食塩 <small>しょくえん</small>
しお	塩 <small>しお</small> 塩辛い <small>しおから</small>
578	演
エン	演技 <small>えんぎ</small> 演習 <small>えんしゆ</small> 演説 <small>えんぜつ</small>

579	汚
オ	
よごす	汚す(他)
よごれる	汚れる
きたない	汚い
580	応
オウ	応じる / ずる 応用 一応
581	押
オウ	
おす	押す(他) 押し入れ
おさえる	押さえる(他)
582	欧
オウ	欧米
583	奥
オウ	
おく	奥 奥さん
584	仮
カ	仮定
(特)	仮名 送り仮名 片仮名 平仮名
585	価
カ	価格 高価 定価 物価
586	河
カ	運河
かわ	河
587	荷
カ	
に	荷物

588	菓
カ	(お)菓子
589	貨
カ	貨物 通貨
590	靴
カ	
くつ	靴 靴下

第32回

591	介
カイ	紹介
592	灰
カイ	
はい	灰 灰色
593	快
カイ	快晴 快適
594	皆
カイ	
みな	皆 皆さん
595	械
カイ	機械 器械
596	壊
カイ	
こわす	壊す(他)
こわれる	壊れる
597	害
ガイ	害 公害 利害